



出港見学



活動のねらい

- 甲板での安全な展望の仕方を知る。
- 郷土の景色を眺めながら展望放送を聞くことや友だちとのコミュニケーションを通して、「うみのこ」や「フローティングスクール」の概要などについて知り、「うみのこ」での2日間の学習に期待を持つ。
- 寄港地の景色を眺めながら展望放送を聞くことや友だちとのコミュニケーションを通して、郷土に対する理解と愛着を深める。

【場所】 3階甲板

【時間】 10分間～15分間

主な活動の流れ

- ①ドラを鳴らす児童は放送の指示に従い、何も持たずに、3階大会議室前へ集合する。
※ドラ指導の教職員は、班を担当していないことが望ましい。
- ②他の児童は放送の指示に従い、班でまとまり、何も持たずに甲板へ移動する。
※班担当の教職員は、必ず班の先頭で児童を引率する。
※教職員は救命浮環を持ち、甲板指導をする。
※班を担当していない教職員は、所定の指導場所で安全指導をする。
- ③出港の様子を見学する。
※教職員は出港見学時の安全指導を行う。
※ドラ指導の教職員は、ドラを鳴らし終わった児童がその場でまとまって、安全に出港見学を行えるように指導する。
- ③出港見学終了後、班でまとまって船内へ移動する。
※班担当の教職員は、必ず班の先頭で児童を引率する。

●教職員指導内容

- ・「児童だけでは甲板に出ない。走らない。ふざけない。柵に足をかけない。身を乗り出さない。」等、安全指導を徹底して行う。
- ・甲板に出る際は必ず「救命浮環」を持ち、緊急時に備える。
(落水者があった場合は、すぐに救命浮環を投げ込み、「右(左)舷、落水者あり!」と大きな声で全体に伝える。)
- ・甲板に出るドアは開けきるか、または、閉めきってドアのフックをかけて固定するかのどちらかにする。
- ・荒天時は、3階の屋根のある甲板や船内から見学することもできる。
- ・「所定の指導場所」は、**船内図**で確認すること。